

令和2年度当初予算(案)・令和元年度3月補正予算(案) 事業等説明資料

一般会計.....	P 1
特別会計・事業会計.....	P 38

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	地域生活を支える交通対策 (公共交通空白地有償運送支援事業・地方バス路線運行維持対策事業)	(一部) 新規	予 算 額	財 源 内 訳														
背 景 ・ 経 緯	・H25. 10:宮津与謝エリア上限200円バス社会実験開始 ・H27. 4:上宮津小の宮津小への統合により上宮津線の系統追加 ・H27. 10: 宮津与謝エリア上限200円バス社会実験を 2 年間延長 ・H29. 4:日置世屋線の木子への延伸、島陰新宮線の由良及び宮津市街地への延伸、養老・日置中の橋立中への統合により専用スクールバス運行 ・H29. 10:宮津与謝エリア上限200円バス本運行開始 ・H30. 4:日ヶ谷線の菰田への延伸 ・H30. 10:丹後海陸交通(株)から、運転手不足のため枝線6路線からの運行撤退の申し入れ。以後、路線再編に向けて協議開始 ・R 2. 4:上宮津線、養老線及び日ヶ谷線が廃止。新たに、地域主体による運行を開始		54,364	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源										
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳														
			44,965	府	市町村運行確保生活路線維持費補助金			1,667										
				府	きょうと地域連携交付金			3,853										
			(参考)前々年度決算額	繰入	過疎地域自立促進特別事業基金繰入金			20,000										
		市債	過疎対策事業債			6,800												
目 的 ・ 目 標	交通弱者を中心とした地域住民の移動手段及び鉄道路線からの二次交通手段を確保するため、地域主体の公共交通空白地有償運送事業及び路線バスの運行経費等を支援し、利便性向上等を進め適切な交通網の維持を図る。		ビジョン 重点戦略	定住促進戦略														
			ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備														
事 業 概 要	■公共交通空白地有償運送支援事業 7,706千円 令和2年4月から上宮津地区及び養老・日ヶ谷地区の地域団体により実施される公共交通空白地有償運送事業を支援 ・実施団体への支援 6,398千円 ・使用車両リース料 1,308千円 ■地方バス路線運行維持対策事業 46,658千円 ・幹線路線への支援 32,237千円 市町域を超える幹線路線（4 路線）の運行を国・府・関係市町とともに支援 ・枝線路線への支援 14,402千円 日ヶ谷線、養老線、上宮津線（令和2年3月末分まで） 日置世屋線、田井線、島陰新宮由良線（令和2年9月末分まで） ・バス回転場用地賃貸借料 19千円 <table><tr><td>上宮津</td><td>上宮津有償運送運営協議会が公共交通空白地有償運送（区域運行デマンド型）を実施</td><td rowspan="2">4月開始</td></tr><tr><td>養老・日ヶ谷</td><td>橋北移送サービス運営協議会が公共交通空白地有償運送（ドアtoドアデマンド型）を実施</td></tr><tr><td>由良</td><td>由良自治連を中心に検討会を立ち上げ。実施内容を検討中</td><td rowspan="3">10月開始に向けて検討中</td></tr><tr><td>栗田</td><td rowspan="2">検討中（地域への相談と並行して丹後海陸交通(株)等と調整中）</td></tr><tr><td>日置世屋</td></tr></table>	上宮津	上宮津有償運送運営協議会が公共交通空白地有償運送（区域運行デマンド型）を実施	4月開始	養老・日ヶ谷	橋北移送サービス運営協議会が公共交通空白地有償運送（ドアtoドアデマンド型）を実施	由良	由良自治連を中心に検討会を立ち上げ。実施内容を検討中	10月開始に向けて検討中	栗田	検討中（地域への相談と並行して丹後海陸交通(株)等と調整中）	日置世屋	総合戦略 政 策	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
		上宮津	上宮津有償運送運営協議会が公共交通空白地有償運送（区域運行デマンド型）を実施		4月開始													
		養老・日ヶ谷	橋北移送サービス運営協議会が公共交通空白地有償運送（ドアtoドアデマンド型）を実施															
		由良	由良自治連を中心に検討会を立ち上げ。実施内容を検討中	10月開始に向けて検討中														
		栗田	検討中（地域への相談と並行して丹後海陸交通(株)等と調整中）															
		日置世屋																
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】															
期 待 さ れ る 効 果 等	■市民参加の状況 ・地域住民の代表、事業者等で構成する地域公共交通会議において、ダイヤ、運賃、路線等について協議 ・住民主体による公共交通空白地有償運送を実施。 ■期待される効果 ・買物通院等移動の確保・利用者拡大による健全な公共交通の維持 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 KPI:200円バス利用者数 R2:35万人(H30:33万人) KPI:公共交通空白地 R2:0集落(H30:4集落)																	
	9産業と技術革新の基盤をつくらう 11住み続けられるまちづくりを																	
担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係			45-1664	2													

上宮津	上宮津有償運送運営協議会が公共交通空白地有償運送(区域運行デマンド型)を実施	4月開始
養老・日ヶ谷	橋北移送サービス運営協議会が公共交通空白地有償運送(ドアtoドアデマンド型)を実施	
由良	由良自治連を中心に検討会を立ち上げ。実施内容を検討中	10月開始に向けて検討中
栗田	検討中(地域への相談と並行して丹後海陸交通(株)等と調整中)	
日置世屋		

事業名	いきいき健康長寿のまち“みやづ”推進事業	充実	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	・本市の高い高齢化率、介護認定率及び医療費の増加傾向を踏まえ、保健事業の充実により健康寿命の延伸を図ることが必要 ・「医療保険制度の適正かつ効果的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」（R元.5施行）にて、市町村による後期高齢者の保健指導充実等が規定		29,389	542	554		5,541	22,752
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			45,113	国 府	疾病予防対策事業費等補助金 保健事業費等補助金		542 554	
目 的 目 標	病気の早期予防・早期発見や運動面、栄養面など多様な視点から市民の主体的な健康づくりを支援するとともに、高齢者のフレイル予防を含めた保健事業を充実させ、健康寿命の延伸を図る。		(参考)前々年度決算額	諸	健康診査等費用徴収金			1,382
			46,388	諸	後期高齢者保健事業委託金		345	
			諸	後期高齢者医療保健事業補助金等		3,814		
事 業 概 要	■早期予防・早期発見の推進 28,793千円 ○住民健診 生活習慣病予防、がんの早期発見を図るため、健康診査及びがん検診を実施 ・健診日数 13日間（6月：土日含む） ・会 場 みやづ歴史の館、各地区公民館 【充実】住民健診における健康診査項目追加 ・推定塩分摂取量：高血圧や慢性腎臓病の予防に必要な減塩指導に活用 ・アルブミン（血中たんぱく質濃度）：低栄養の予防や指導に活用 ○保健指導 住民健診の結果に基づき個別訪問や栄養教室等を実施 【充実】保健指導体制の強化等 ・全体調整役の保健師の配置及び保健指導のPDCAサイクル構築 ・健康診査データ分析ソフトの導入、タブレット端末を活用した保健指導実施 ・サロン活動等通い場での啓発活動、健康状態不明者の把握 など ■健康づくり運動の推進 341千円 ・活動量計を活用した健康づくり ・健康相談、訪問指導、健康講演会 など ■食による健康づくり事業の推進 255千円 ・食生活改善地域普及事業（食生活改善普及員による食の講座、調理実習など） ・親子料理教室、減塩料理教室の開催		ビジョン 重点戦略	—				
			ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進				
			総合戦略 政 策	—				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H28	いきいき健康長寿のまち“みやづ”推進プラン				H29～R2
			H30	データヘルス計画				H30～R5
			期 待 される 効果等	・健康寿命の延伸 ・介護給付費、医療費の抑制 3 すべての人に健康と福祉を				
			担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係			45-1624	

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	スポーツを通じた人とまちの元気づくりに向けて (スポーツ振興事業・市民体育館整備事業)	(一部) 新規	予 算 額	財 源 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	・H20. 3：宮津市スポーツ振興計画策定 ・H30. 12：第2期宮津市スポーツ推進計画策定 基本理念「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」		10,300	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			5,148	府 諸	きょうと地域連携交付金 スポーツ振興くじ助成金		1,216 3,600	
目 的 ・ 目 標	第2期宮津市スポーツ推進計画に掲げる「ライフステージに応じたスポーツの推進」 「多様なスポーツを支える環境の充実」「まちに夢と元気を与える競技スポーツの振興」 「スポーツ交流によるまちの元気づくりの推進」の4つの基本目標に基づきスポーツ施策を推進する。		(参考)前々年度決算額					
			5,975					
事 業 概 要	○スポーツ振興事業 5,800千円 ■ライフステージに応じたスポーツの推進 951千円 ◆巡回ニュースポーツ教室、各種スポーツ教室等の実施 ◆「SOMPOボールゲームフェスタ2020」と連携した第2回市民スポーツDAYの開催 日 時 令和2年10月11日(日) 9:00～16:45(予定) 場 所 宮津市民体育館ほか 共 催 宮津市スポーツ協会、宮津市民実践活動センター 総合型地域スポーツクラブ(RAINBOW)、宮津市スポーツ推進委員 SOMPOボールゲームフェスタ 日本トップリーグ機構が主催する親子向けの地域密着型イベントで、トップアスリートによる競技体験や技術指導等により、スポーツに触れる機会の創出やスポーツを通じた交流を図る。 ■まちに夢と元気を与える競技スポーツの振興 4,286千円 宮津市スポーツ協会への支援、全国大会等出場激励金・懸垂幕掲出、四都市体育大会出場支援ほか ■スポーツ交流によるまちの元気づくりの推進 563千円 丹後大学駅伝大会・宮津市長杯少年少女レスリング選手権大会等全国的、広域的なスポーツ大会の開催支援ほか ○市民体育館整備事業 4,500千円 ■多様なスポーツを支える環境の充実 宮津市民体育館トレーニング室の大型トレーニング機器更新（1台） [参考]市民体育館利用状況 H30 70,788人(うちトレーニング室 3,861人)		ビジョン 重点戦略	定住促進戦略				
			ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成				
			総合戦略 政 策	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H30	第2期宮津市スポーツ推進計画				H30～R4
			期 待 さ れ る 効 果 等	・スポーツ実施率の向上 ・競技力の向上 ・全国的、広域的な大会への出場件数の増加 ・スポーツ交流人口の増加 ・市民体育館トレーニング機器の更新による利用者の安心安全の確保と利便性向上 ・スポーツを通じた健康づくりの推進				
				3 すべての人に健康と福祉を 				
担当部署	教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係			45-1642		5・6		

事業名	ため池ハザードマップの作成（農業基盤整備事業）	新規	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	R元. 7: 農業用ため池の管理及び保全に関する法律の施行		2,541		2,541			0
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				府	農業基盤整備事業費補助金		2,541	
目 的 ・ 目 標	人的被害が発生するおそれのある「防災重点ため池」について、マップの作成を通じて流域住民等の防災意識の向上を図るとともに、スピーディーな避難行動等につなげる。		(参考)前々年度決算額					
			ビジョン 重点戦略	—				
事 業 概 要	■農業水路等長寿命化・防災減災事業 2,541千円 地域住民とのワークショップ等を通じ、地域特性の把握を行った上で、浸水予想区域や避難場所の地図化等、避難活用情報を整備する。 ・対 象 防災重点ため池 ・箇所数 2カ所（国分地区及び田原地区） 〈参考〉 ○防災重点ため池 ①ため池から100m未満の浸水区域内に家屋、公共施設がある ②ため池から100mから500mの浸水区域内に家屋、公共施設があり、かつ、貯水量1,000m ³ 以上		ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備				
			総合戦略 政 策	—				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			期 待 される 効果等	市民の安心・安全で健やかな暮らしの実現				
				11 住み続けられるまちづくりを				
担当部署	産業経済部 農林水産課 産業基盤係		45-1627		8			

令和2年3月定例会

令和2年度当初・元年度3月補正一体予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	地域の安全と安心を守る暮らしの基盤整備 (道路新設改良事業・未就学児等緊急交通安全対策事業)	(一部) 新規	予 算 額	財 源 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	社会資本整備総合交付金等を活用し、生活に密着した道路を計画的に点検・整備する。 ・H24：橋梁長寿命化修繕計画策定 ・H25：道路ストック点検実施 ・H26：宮津市通学路交通安全プログラム策定 ・H26～H29:橋梁の近接目視による法令定期点検実施（1順目） ・R元.6:未就学児集団移動経路の緊急点検実施 ・R元.9:教育・保育施設管理者・道路管理者・警察との合同点検実施 ・R 2.3:宮津市通学路安全推進協議会 開催予定		121,194	57,421		59,800		3,973
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			103,585	国	道路整備事業費補助金			57,421
			(参考)前々年度決算額	市債	道路整備事業債			10,000
				市債	過疎対策事業債			33,400
			70,225	市債	辺地対策事業債			16,400
目 的 ・ 目 標	道路・橋りょう等の老朽化が進む中、道路ストック点検、橋梁長寿命化修繕計画及び宮津市通学路交通安全プログラムに基づき、施設の計画的な整備・修繕や長寿命化を図り、安全で安心して暮らせる快適な生活環境づくりに努める。		ビジョン 重点戦略	—				
			ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備				
事 業 概 要	■子どもたちの安全・安心を確保する歩行者対策 52,400千円 【令和元年度3月補正予算:12,400千円、令和2年度当初予算:40,000千円】 ○未就学児集団移動経路における緊急安全対策 ・大久保線、惣宮村線他 12,400千円 路肩拡幅、路面カー舗装等〈3月補正〉 ○通学路安全対策 ・宮津中学校線、中橋惣線他 40,000千円 路肩拡幅、歩道整備 ■暮らしの安全・安心を確保するインフラ整備 67,467千円 【令和元年度3月補正予算:5,467千円、令和2年度当初予算:62,000千円】 ○宮津市橋梁長寿命化対策 ・中田橋他6橋 35,000千円 上部工架設、橋梁断面補修 ・橋梁定期点検 9,000千円 法定定期点検委託 ○防災カルテにおける危険法面等対策 ・小田辛皮線、脇狩場線 18,000千円 法面对策、横断水路拡幅 ・浦館線 5,467千円 法面对策測量設計委託〈3月補正〉 ■事務費等 1,327千円		総合戦略 政 策	—				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H24	宮津市橋梁長寿命化修繕計画			H24～	
			H26	宮津市通学路交通安全プログラム			H26～	
			R元	宮津市国土強靱化地域計画			R元～	
			期 待 さ れ る 効 果 等	・児童・生徒の安全な通学環境の確保 ・道路利用者の安全確保				
担当部署	建設部 土木管理課 土木係		45-1629	9・204				



交差点対策(カー舗装)



通学路対策(歩道整備)



事業名	河川整備事業	新規	予 算 額	財 源 内 訳				
背 景 経 緯	・ 頻繁に発生する滝馬川流域の浸水被害（床上・床下浸水） *H16.10台風23号、H25.9台風18号、H29台風18号、台風21号、H30.7月豪雨、台風24号 ・ 滝馬川河川改修促進協議会と意見交換等を重ね、令和元年度に詳細設計を実施 ・ 宮津市国土強靱化地域計画策定（令和元年12月）		110,000	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
					110,000		0	
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				市債	河川整備事業債		110,000	
			(参考)前々年度決算額					
目 的 目 標	地域住民が安全・安心に生活できるよう頻発する滝馬川流域の浸水被害の軽減を図る。		ビジョン 重点戦略	—				
			ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備				
事 業 概 要	■河川整備事業 110,000千円 「防災・減災国土強靱化のための3ヵ年緊急対策」と連携し、新たに創設された「緊急自然災害防止対策事業債」を活用し滝馬川河川整備事業を実施する。 ○滝馬川河川整備事業 L=477m うちR2整備分 L=約200m 		総合戦略 政 策	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			R元	宮津市国土強靱化地域計画				R元～
期 待 される 効果等			期 待 される 効果等	・河川整備による浸水被害の軽減と、地域住民の安全・安心の確保				
								
			担当部署	建設部 土木管理課 土木係		45-1629		10

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	日置地区公民館の移転整備（公民館整備事業）	充実	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	施設の老朽化により、大規模改修または建設整備が必要となっている日置地区公民館について、旧日置中学校を利活用し、移転整備するもの。 H26.4：日置中学校を橋立中学校に統合（H29年3月廃校） H30.7：日置地区自治連合会から「旧日置中学校の校舎を地区公民館・連絡所として活用すること」などについての要望 R元.7：日置地区公民館移転工事実施設計		88,600			88,600		0
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			7,500	市債	過疎対策事業債			88,600
目 的 ・ 目 標	日置地区公民館を旧日置中学校校舎に移転整備し、公民館活動及び地域コミュニティ活動の活性化、地域振興を図るもの。あわせて、災害時における避難所機能も整備。		(参考)前々年度決算額					
事 業 概 要	■日置地区公民館移転整備工事 88,600千円 旧日置中学校校舎の一部（1階部分）を日置地区公民館（地区連絡所機能を含む）に改修整備する。 ・整備内容 大会議室、調理実習室、和室、トイレ洋式化、身障者用トイレ設置 地区連絡所、公民館事務室 ほか [参考]日置地区公民館利用状況 H28 2,047人 H29 1,731人 H30 1,755人		ビジョン 重点戦略	定住促進戦略				
			ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成				
			総合戦略 政 策	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			期 待 される 効果等	・公共施設マネジメント推進 遊休施設（廃校舎）を活用した公共施設の再編 ・生涯学習機会、健康増進、地域防災等の充実				
				4 質の高い教育を みんなに 11 住み続けられる まちづくりを				
			担当部署	教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係		45-1642		11

事業名	質の高い学力の充実・向上 と 地域とともにある学校づくり (小中一貫教育推進事業)	充実	予 算 額	財 源 内 訳							
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源			
背 景 ・ 経 緯	・ H28. 3：宮津市教育振興計画策定 ・ H28. 7：宮津市小中一貫教育研究推進協議会設置 ・ H29. 1：宮津市小中一貫教育基本方針策定 ・ H29.12：宮津市小中一貫教育推進基本計画策定 ・ H30. 2：宮津市学力向上プラン策定		11,289		200		6,000	5,089			
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳							
			11,869	府 繰入	未来を拓く学校づくり推進事業委託金 教育基金繰入金		200 6,000				
目 的 ・ 目 標	宮津市教育振興計画における基本方針「明日の宮津を創る子どもの育成」に位置付ける“質の高い学力の充実・向上”“心身ともに健やかな子どもの育成”を推進するとともに、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」を目指す。		(参考)前々年度決算額								
			13,407								
			ビジョン 重点戦略	定住促進戦略							
事 業 概 要	■小中一貫教育の推進(質の高い学力の充実・向上) 11,289千円 系統的な教育課程の編成による学力向上等を目指す「小中一貫教育」を全面实施するとともに、学力サポートコーディネーター配置による算数・数学の学力向上の取組、認知能力と非認知能力を一体的に育む保幼小接続に係る取組などを進める。 ◆小中一貫教育の推進 ・栗田学院と宮津学院での本格実施、4小学校連携の更なる推進 ・小中一貫教育専門職員の配置等、市民啓発（教育フォーラムの開催等） ・学力サポートコーディネーター(指導主事)による算数・数学の指導力向上 ◆保幼小接続の取組（府研究委託「未来を拓く学校づくり推進事業」(R元～R3)） ・就学前教育・保育における認知能力（学力）及び非認知能力（生きる力、学びへの意欲）向上のための研究 ◆高校と地域の連携推進 ・府立宮津天橋高等学校及び海洋高等学校と協働して、地域の将来を支える人材育成を推進する「地域創生教育推進協働プロジェクト(仮称)」の立ち上げ [参考] ◆学力向上プランに基づく取組【小・中学校管理・教育振興事業：142,744千円の一部】 ・語彙力向上を目指す「漢字能力検定」の活用（小4・小6・中2で全員受検） ・英語力を高める「英語検定」の活用（中1・中3で全員受検） ◆コミュニティ・スクールの本格導入【教育委員会事務局経費：17,630千円の一部】 小中一貫教育の推進と併せて、栗田学院と宮津学院において学校と地域住民等が一体となって学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」を本格導入する。(コミュニティ・スクール推進コーディネーター(指導主事)が導入に係る動きをフォロー)			ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成						
				総合戦略 政 策	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる						
				【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】							
				H27	宮津市教育大綱			H27～R2			
				H27	宮津市教育振興計画			H28～R2			
				H29	宮津市小中一貫教育推進基本計画			H29～			
				H29	宮津市学力向上プラン			H30～R2			
				期 待 される 効果等	・系統性を重視した教育課程編成による学力向上 ・「小1プロブレム」「中1ギャップ」等の解消 ・質の高い学力の充実・向上 （基礎・基本の徹底、言語活動を通じた表現力の育成 学習意欲の向上） ・地域連携による社会に開かれた教育課程の実現						
					4 質の高い教育を みんなに 17 パートナシップで 目標を達成しよう						
				担当部署	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係			45-1641		15	

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	のびのび放課後クラブ事業	充実	予 算 額	財 源 内 訳																										
背 景 経 緯	・S41.4：宮津のびのび放課後児童クラブ開設、H15.9：吉津のびのび放課後児童クラブ開設、H20.11：府中放課後クラブ開設、H21.7：養老わいわいクラブ開設、H22.4：由良浜っこ児童クラブ開設 ・H30.1：宮津のびのび放課後児童クラブを宮津小学校新校舎内に移設 ・H31.3：栗田のびのび放課後児童クラブ、府中のびのび放課後児童クラブ施設完成 ・R元.11：吉津のびのび放課後児童クラブを吉津小学校内に移転整備 (地域運営の由良浜っこ児童クラブ及び府中放課後クラブはH31.4より、養老わいわいクラブはR2.2より学校敷地内等での市直営実施(法人委託)を開始する中で終了)		36,599	9,611	9,611		7,321	10,056																						
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳																										
			64,881	国	子ども・子育て支援交付金			9,611																						
			(参考)前々年度決算額	府	子ども・子育て支援交付金			9,611																						
			97,336	諸	放課後児童健全育成事業利用者負担金			6,990																						
目 的 目 標	保護者の多様な雇用形態に対応し、次代を担う人材を育成するため、安全・安心に放課後等を児童が過ごすことができるよう放課後児童クラブの充実を図る。		ビジョン重点戦略	定住促進戦略																										
			ビジョン基本施策	教育の充実と人材育成																										
事 業 概 要	■市設置の「のびのび放課後児童クラブ」の運営 36,599千円 ・R2.4より全てのクラブを小学校敷地内で運営 ・H30、R元より開設時間を拡充 土曜・長期休業日等 午前8時から → 午前7時30分から (H30～) 開設日全て 午後6時30分まで → 午後7時まで (R元～) <table><tr><th>名称</th><th>開設場所</th><th>定員</th><th>開設時間</th><th>運営方法</th></tr><tr><td>宮 津</td><td>宮津小学校 新校舎内1階</td><td>112名</td><td rowspan="2">[平日] 下校時～午後7時</td><td>直営</td></tr><tr><td>吉 津【移転】</td><td>吉津小学校 校舎内1階</td><td>35名</td><td>法人委託</td></tr><tr><td>栗 田</td><td>栗田小学校 敷地内建物</td><td>35名</td><td rowspan="2">[土曜・長期休業日等] 午前7時30分～午後7時</td><td>法人委託</td></tr><tr><td>府 中</td><td>府中小学校 校舎内1階</td><td>35名</td><td>法人委託</td></tr></table>	名称	開設場所	定員	開設時間	運営方法	宮 津	宮津小学校 新校舎内1階	112名	[平日] 下校時～午後7時	直営	吉 津【移転】	吉津小学校 校舎内1階	35名	法人委託	栗 田	栗田小学校 敷地内建物	35名	[土曜・長期休業日等] 午前7時30分～午後7時	法人委託	府 中	府中小学校 校舎内1階	35名	法人委託	総合戦略政策	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
		名称	開設場所	定員	開設時間	運営方法																								
		宮 津	宮津小学校 新校舎内1階	112名	[平日] 下校時～午後7時	直営																								
		吉 津【移転】	吉津小学校 校舎内1階	35名		法人委託																								
		栗 田	栗田小学校 敷地内建物	35名	[土曜・長期休業日等] 午前7時30分～午後7時	法人委託																								
		府 中	府中小学校 校舎内1階	35名		法人委託																								
		【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】																												
		H27	宮津市教育大綱				H27～R2																							
		H27	宮津市教育振興計画				H28～R2																							
		H29	学校施設整備年次計画				H29～																							
R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画				R2～R6																									
期待される効果等	・学校敷地内等での運営施設数:4箇所(R2)																													
担当部署	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係			45-1641	17																									

事業名	幼稚園給食の導入に向けて（学校給食運営事業）	新規	予 算 額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背 景 ・ 経 緯	第1期宮津市子ども・子育て支援事業計画(H27.2)、宮津市教育振興計画(H28.3)、学校施設整備年次計画(H29.8)等に基づく学校教育環境の整備・充実など ⇒H28. 4～:幼稚園教育・保育の充実(3年教育の実施、一時預かり事業の開始) H30. 8～:センター方式給食開始(中学校給食の開始、4小学校センター方式化へ移行) R元.10～:幼児教育・保育の無償化		1,500			1,500		0	
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
				市債	過疎対策事業債			1,500	
目 的 ・ 目 標	就学前の教育・保育環境の充実、保幼小中で一貫した食育の推進等を図るため、令和3年度からの幼稚園給食開始に向けて必要な準備を進めていく。		(参考)前々年度決算額						
			ビジョン 重点戦略	定住促進戦略					
事 業 概 要	■令和3年度からの幼稚園給食導入に向けた準備経費 1,500千円 幼稚園給食導入（センター給食化）に向け、配膳室等必要な整備に係る実施設計を行う。 [対象]宮津幼稚園、栗田幼稚園 【参考（R2見込み）】 ◆幼稚園園児数等 ・2園計47人（園児34人、教員等13人） ◆センター給食の現況 ・全6校（小学校4、中学校2） ・計1,160人（児童生徒944人、教員等216人）  幼稚園給食のイメージ		ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成					
			総合戦略 政 策	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる					
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】						
			H27	宮津市教育大綱			H27～R2		
			H27	宮津市教育振興計画			H28～R2		
			H29	学校施設整備年次計画			H29～		
			R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R2～R6		
			期 待 される 効果等	[宮津市教育振興計画 基本方針1の実現] 幼稚園給食全園で実施 					
			担当部署	教育委員会事務局 学校教育課 学校給食・施設係			45-1662		18



幼稚園給食のイメージ

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	強い農業づくり支援事業 (元気な営農推進事業と里の地域資源活用事業を統合)	充実	予 算 額	財 源 内 訳																						
背 景 経 緯	〔スマート農業〕 ・R元：京都府が「スマート農林水産業実装チャレンジ事業」を創設〔オリーブ〕 ・H25～26：オリーブ栽培の実証を開始 ・H27：経営戦略の策定 日伊文化交流協会との連携協定の締結 実証結果を踏まえ栽培の開始 加工品生産基盤の支援 ・H28～30：オリーブ産業をマネジメント・けん引する「オリーブオイル宮津」の設立 ・R元：宮津オリーブ生産者の会（44会員）の設立		7,623	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																		
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳																						
			12,225	府	スマート農業実装チャレンジ事業費補助金			5,456																		
			(参考)前々年度決算額																							
			40,352																							
目 的 目 標	農業者及び農業者団体が行うスマート技術（機械及び設備）の導入を支援し、作業性と品質・生産性の向上を図る。 また、オリーブ生産者の技術や品質向上のための取組を支援し、オリーブの産業化を図る。		ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略																						
			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興																						
事 業 概 要	■スマート技術導入への支援 5,456千円 <table><tr><th>事業内容</th><th>事業主体</th><th>事業費</th><th>補助率</th><th>補助金額</th></tr><tr><td rowspan="2">食味計・収量センサー機能付き コンバインの整備</td><td>松尾農家組合</td><td>6,820千円</td><td>1/2</td><td>3,410千円</td></tr><tr><td>認定農業者 (府中地区)</td><td>6,820千円</td><td>3/10</td><td>2,046千円</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>13,640千円</td><td></td><td>5,456千円</td></tr></table> ■オリーブ生産者組織への支援 300千円 オリーブの産業化を目指し、「宮津オリーブ生産者の会」が実施するオリーブの栽培・加工技術及び品質の向上を図る取組を支援 ■地域おこし協力隊の活動支援等 1,867千円 地域外の人材の定住を促進し、地域活性化を図るため地域おこし協力隊を配置 ・市内オリーブ生産者の支援等（継続者1名：任期H29.9～R2.9）	事業内容	事業主体	事業費	補助率	補助金額	食味計・収量センサー機能付き コンバインの整備	松尾農家組合	6,820千円	1/2	3,410千円	認定農業者 (府中地区)	6,820千円	3/10	2,046千円	合 計		13,640千円		5,456千円	総合戦略 政 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする				
		事業内容	事業主体	事業費	補助率	補助金額																				
		食味計・収量センサー機能付き コンバインの整備	松尾農家組合	6,820千円	1/2	3,410千円																				
			認定農業者 (府中地区)	6,820千円	3/10	2,046千円																				
		合 計		13,640千円		5,456千円																				
		【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】																								
		期 待 される 効果等	・作業の効率化・省力化及び品質・生産性の向上 ・新たな特産品開発 ・観光消費の拡大や外貨獲得 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 オリーブの植栽数・出荷量 R2年度末10,000本、2.6t → R元年度末4,877本、0.66t 〔市民参加の状況〕 ・生産者44名(団体・企業を含む)が 宮津オリーブ生産者の会を設立																							
			2 緑地を ゼロに 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう																							
担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係		45-1626	19																						



事業名	強い水産業づくり支援事業（海の地域資源活用事業から名称変更）	充実	予 算 額	財 源 内 訳																										
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																						
背 景 経 緯	漁獲量の減少や魚価の低迷等により、漁業経営が厳しい状況となってきた。 また、生産者の高齢化、従事者の減少により、生産力が低下してきている。		1,894		874			1,020																						
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳																										
			1,101	府	スマート漁業実装チャレンジ事業費補助金		874																							
目 的 目 標	漁業者及び漁業団体が行うスマート技術（機械及び設備）の導入を支援し、作業性と品質・生産性の向上を図る。 また、漁業者等が取り組むつくり育てる漁業の取組を支援し、漁業経営の安定化、多角化を促進する。		(参考)前々年度決算額																											
			4,762																											
			ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略																										
事 業 要 概	■スマート技術導入への支援 874千円		ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興																										
	<table><tr><th>事業内容</th><th>実施主体</th><th>事業費</th><th>補助対象 経 費</th><th>補助率</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>スマート漁業実装 チャレンジ事業 (アシストスーツの 導入)</td><td>栗田とり貝育 成振興協議会</td><td>897千円</td><td>897千円</td><td rowspan="2">4.5/10</td><td>403千円</td></tr><tr><td>宮津湾とり貝 育成組合</td><td>1,047千円</td><td>1,047千円</td><td>471千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td>1,944千円</td><td>1,944千円</td><td></td><td>874千円</td></tr></table>		事業内容	実施主体	事業費	補助対象 経 費	補助率	補助金額	スマート漁業実装 チャレンジ事業 (アシストスーツの 導入)	栗田とり貝育 成振興協議会	897千円	897千円	4.5/10	403千円	宮津湾とり貝 育成組合	1,047千円	1,047千円	471千円	合 計		1,944千円	1,944千円		874千円	総合戦略 政 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする				
			事業内容	実施主体	事業費	補助対象 経 費	補助率	補助金額																						
	スマート漁業実装 チャレンジ事業 (アシストスーツの 導入)	栗田とり貝育 成振興協議会	897千円	897千円	4.5/10	403千円																								
	宮津湾とり貝 育成組合	1,047千円	1,047千円	471千円																										
	合 計		1,944千円	1,944千円		874千円																								
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】																											
		期 待 される 効果等	・漁業所得の向上 ・作業の効率化・省力化及び品質・生産性の向上																											
			14 海の豊かさを つなぐ																											
																														
		担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係		45-1626		21																							

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	浜町にぎわいづくり推進事業	充実	予 算 額	財 源 内 訳				
背 景・経 緯	・H26：浜町立体駐車場の取得（市営化） ・H27：観光交流センターオープン、道の駅登録、宮津まちづくり会議報告書の提出 ・H28：地域振興拠点の具体化に向けた宮津商工会議所による事業パートナーの選定 ・H29：道の駅内にパイロット事業施設「おさかなキッチンみやづ」オープン（パイロット事業期間：H29.8～R2.7）		33,989	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			58,337	国	地方創生推進交付金			3,888
			(参考)前々年度決算額	府	きょうと地域連携交付金			4,173
			62,400	繰入	まちづくり基金繰入金			3,500
目 的・目 標	浜町地区周辺を魅力ある集客ゾーンとし、地域産業の振興及びまちなかの活性化を図る。		ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略				
			ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興				
事 業 概 要	■道の駅「海の京都 宮津」及び立体駐車場の運営 33,989千円 ○道の駅「海の京都 宮津」の運営 ・観光交流センターの運営費 ・パイロット事業施設の運営支援 ・パイロット事業終了後、おさかなキッチンみやづの道の駅構成施設への追加登録申請（現行：観光交流センター観光案内所、農産物等直売所、屋外駐車場） ※R2.8～ 道の駅構成施設の指定管理者による一体管理 ○立体駐車場の運営 ・24時間開場の実施（R2.4～） ・発券機、精算機の更新など ※観光案内所、農産物等直売所、飲食物等販売所、屋外駐車場、立体駐車場については、観光情報発信、住民と来訪者との交流、産業振興及びまちなかの活性化を図るための一体的な「まちなか地域振興拠点施設」として条例制定。		総合戦略政策	しごとをつくり、安心して働けるようにする				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H27	浜町エリア及びその周辺エリアの活性化に向けて				
			期 待 される 効果等	・運営の効率化 ・サービス・集客の向上 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 R2:310万人（H30:297万人） 観光消費額 R2:150億円（H30:95億円） 外国人観光客宿泊数 R2:6万人（H30:4.2万人）				
			担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係			45-1663	

事業名	魅力ある商いづくり事業 (農水商工観連携事業と魅力あるまち“みやづ”にUIJターン推進事業の一部を統合)	継続	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	・ H24 : 特産品等振興事業補助金を創設 ・ H25.2 : 学校法人大和学園・宮津市連携協定を締結 ・ H26 : 宮津市魅力ある商いのまちづくり支援事業補助金を創設		6,804		3,402			3,402
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				府	丹後半島振興広域連携促進事業費補助金		902	
目 的 ・ 目 標	農林水産業と商工業、観光業との連携を深め、6次産業化、地産地商（消）等を推進し、地域経済力を高める。 また、市内の空き家及び空き店舗を活用した新規出店を促進し、商店街の活性化や観光商業化を図る。		(参考)前々年度決算額					
事業概要	■特産品等振興事業補助金 1,000千円 市内の農林水産物を使用した特産品づくりや販路開拓を強化するため、商工会議所が行う伴走支援による商品開発等の取組を支援 ※市の補助金交付事業から商工会議所の支援事業に見直し ■大和学園との連携事業 804千円 ＜料理メニュー・商品開発アドバイザー事業＞ ・既存商品の改良や新規商品の開発指導、アドバイスを大和学園講師が実施 ＜食のブラッシュアップセミナー＞ ・大和学園講師による飲食店の料理人等を対象とした食のレベルアップ（QSCの向上やインバウンド対応など）を目指したセミナーを開催 ■魅力ある商いのまちづくり支援事業補助金 5,000千円 空き家等を活用し新規出店する者に対し、改修費及び運営費を支援 ・補助額 空き家等の店舗改修に係る経費の2分の1（上限1,000千円） 観光商業に資する事業の場合、運営費の2分の1（上限1,000千円）を上乗せ		ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略				
			ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興				
			総合戦略政策	しごとをつくり、安心して働けるようにする				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			期待される効果等	・新たな土産物開発や新規出店による観光消費額の拡大 ・地元産品のブランド化、高付加価値化 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 ・観光消費額 R2:150億円(H30:95億円) ・空き店舗を活用した新規出店数 6年間で20件(H26～H30:16件)				
				8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	12 つくる責任 つかう責任	17 パートナリシップで目標を達成しよう	
			担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係		45-1663		24

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

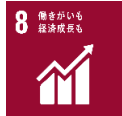
事業名	大河ドラマ「麒麟がくる」ゆかりの地観光推進事業	新規	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	・ H23. 4: 「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」 設立（広域連携組織） ・ H24. 8: 「細川忠興公・ガラシャ夫人誕生450年記念事業実行委員会」 設立 ・ H30. 4: 2020年大河ドラマ「麒麟がくる」放送決定 ・ H31. 1: 「大河ドラマ「麒麟がくる」宮津市推進協議会」 設立 ・ R2. 1～12: 大河ドラマ「麒麟がくる」放送		3, 000	1, 475		1, 000	525	
			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				国 繰入	地方創生推進交付金 まちづくり基金繰入金		1, 475 1, 000	
目 的 ・ 目 標	大河ドラマ放送を契機に、城下町宮津の礎を築いた細川ゆかりの地として、宮津市街地の歴史文化を情報発信し観光誘客を推進するとともに、市民に対しては歴史文化を深掘りし意識醸成することで、地域への愛着心の向上を図る。		(参考) 前々年度決算額					
			ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略				
事 業 概 要	■大河ドラマ「麒麟がくる」宮津市推進協議会事業補助金 2, 200千円 協議会総事業費 4, 950千円（京都府地域交響プロジェクト交付金を活用予定） ○現代版「海上茶会」の開催 期日：令和2年10月18日（日）、25日（日）※丹後きものまつり同日開催 場所：天橋立公園内 内容：天橋立文珠側海上に舞台を設置し、その舞台上でお茶会を開催 ○「細川ガラシャと城下町宮津」（仮称）講演会の開催 期日：令和2年9月13日（日）予定 場所：宮津会館 内容：講演会、パネルディスカッション ○細川ゆかりの地のコンテンツの充実 ・細川忠興・ガラシャなりきり体験 ・「宮津城」御城印の販売 ○情報発信 チラシ増刷、ポスター制作、デジタルサイネージ広告（都市圏）など ■大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会事業 800千円 （12府市町で構成する協議会への負担金: 750千円、旅費: 50千円） ・大河ゆかりの地12自治体により、広域連携した事業を実施 首都圏イベント出展やデジタルスタンプラリーなど		ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興				
			総合戦略 政 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					

事業名	シティプロモーションの強化 (シティプロモーション事業、広報活動事業)	(一部) 新規	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	・ H30.5：市議会総務文教委員会の所管事務調査において、選ばれるまちになるための情報発信に係る「シティプロモーション戦略」の必要性について報告 ・ H31.4：シティプロモーションを推進するため、組織を再編し、企画課魅力発信係を設置		16,067		900		530	14,637
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			5,950	府	きょうと地域連携交付金		900	
目 的 ・ 目 標	住民が地域に愛着を持ち、移住者からも選ばれるまちを目指す。		(参考)前々年度決算額	諸	広報誌みやづ掲載料相当額		30	
			6,700	諸	印刷物等有料広告料		500	
			ビジョン 重点戦略	定住促進戦略				
			ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備				
事 業 要 概	■シティプロモーションの推進 1,000千円【新規】 外部有識者を交えたワークショップを通じてシビックプライドの醸成を図るとともに、SNSなどの媒体による多世代情報発信力強化を図るシティプロモーション戦略の構築を行う。 ■宮津市ホームページリニューアル 9,000千円【新規】 情報発信の重要ツールであるホームページのセキュリティ及びコンテンツ基盤を強化するためのリニューアルを行う。 ■広報活動事業 6,067千円【継続】 ・ 広報みやづの発行 3,444千円 毎月1回の広報誌を発行 ・ 映像・SNS等魅力発信業務 1,800千円 宮津暮らしや行政施設の紹介等の動画コンテンツの制作及び発信、市の公式SNSを活用した情報発信 ・ 宮津市ホームページ保守管理 605千円 サーバー情報のバックアップ、不正アクセスの監視・解析など ・ 事務費 218千円		総合戦略 政 策	みやづへの人の流れをつくる				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			期 待 される 効果等	・本市の認知度向上、イメージアップ ・シビックプライドの醸成 ・移住・定住者に選ばれるまちの構築				
				11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで未来を築こう				
担当部署	企画財政部 企画課 魅力発信係			45-1609		26		

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	宮津湾にぎわいづくり促進事業	充実	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	・ H19.4：京都府から宮津ヨットハーバーの無償譲渡を受け、田井自治会に無償貸付（運営は管理運営組合） ・ H19～H30：宮津湾にぎわいフェスタの開催 ・ H20.3：海の駅として登録 ・ H22.9：みなとオアシスたいみやづとして登録		600					600
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			300					
			(参考)前々年度決算額					
			293					
目 的 ・ 目 標	海を活かした宮津の魅力をつくり、観光誘客等による地域の活性化を図るため、マリンスポーツや船舶など海に親しむ施設として、海の駅及びみなとオアシスたいみやづとして登録されている田井宮津ヨットハーバーを拠点とした、宮津湾のにぎわいづくりを推進する。		ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略				
			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興				
事 業 概 要	■宮津湾利活用検討事業 400千円【新規】 田井宮津ヨットハーバーを中心とした宮津湾のにぎわいづくりに向け、住民及び関係事業者を交えて今後の宮津湾の利活用策を検討する。 ・ 先進地事例の研究 ・ 研究を踏まえた利活用策の検討 ■B&G艇庫の管理 200千円【継続】		総合戦略 政 策	—				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			期 待 される 効果等	・ヨットハーバーを拠点とした宮津湾にぎわいづくり ・ヨットハーバーの利用者の増加（観光客の増加）				
								
			担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係		45-1664		27



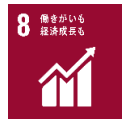
事業名	「自然との共生」による環境施策の推進 (持続可能な環境政策推進計画策定事業)	新規	予 算 額	財 源 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	・ H12. 3:宮津市役所地球温暖化防止計画 (H12～H22) ・ H16. 3:宮津市役所地球温暖化対策実行計画 (H16～H20) ・ H22. 3:宮津市バイオマスタウン構想作成 ・ H24. 3:第2期宮津市役所地球温暖化対策実行計画 (H24～H28) ・ H25. 3:第2期宮津市地球温暖化防止計画 (H25～R2) ・ H30. 3:第3期宮津市役所地球温暖化対策実行計画 (H29～R3)		5, 825				2, 900	2, 925
			(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				繰入	自然環境保全基金繰入金			2, 900
			(参考) 前々年度決算額					
目 的 ・ 目 標	地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第 1 項に基づく地球温暖化対策実行計画を策定し、本市の地球温暖化防止施策及び自然環境保全施策の基本方針を定める。		ビジョン 重点戦略	—				
			ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上				
事 業 概 要	■持続可能な環境政策推進計画の策定 5, 825千円 令和2年度末で宮津市地球温暖化防止計画が期間満了することから、現計画等の点検、SDGs、気候変動など新たな社会的要請を踏まえ、宮津市役所地球温暖化対策実行計画と一体化した新宮津市地球温暖化対策実行計画（持続可能な環境政策推進計画）を策定する。 ・ 基礎調査 5, 300千円 市内事業所の温室効果ガス排出量の現況や将来推計等、新計画策定の基礎調査を行う。 ※収集した資料は、環境学習等への活用も予定 ・ 計画策定委員会の開催 525千円 委員10名程度（学識経験者、各種団体などで構成予定） 年5回程度開催予定		総合戦略 政 策	—				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H22	宮津市バイオマスタウン構想				
			H24	第2期宮津市地球温暖化防止計画			H25～R2	
			H29	第3期宮津市役所地球温暖化対策実行計画			H29～R3	
			期 待 される 効果等	・市の地球温暖化防止、省エネ、環境保全の推進 ・市所管施設の省エネ化の推進				
				6 安全な水とトイレ を世界中に 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 14 海の豊かさを 守ろう 15 陸の豊かさも 守ろう 17 パートナーシップで 目標を達成しよう				
			担当部署	市民部 市民課 環境衛生係			45-1617	

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	丹後ちりめん創業300年事業	充実	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	・ H29. 1:丹後ちりめん創業300年事業実行委員会の設立 ・ H29. 4:日本遺産「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」認定		153					153
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			131					
目 的 目 標	2020年に「丹後ちりめん創業300年」を迎えるに当たり、丹後地域一体となって、織物文化と地域の魅力を全国に発信し、地域ブランド力の向上と未来の人材育成を図る。		(参考)前々年度決算額					
			131					
			ビジョン 重点戦略	—				
事 業 要 概	■丹後地域のものづくり文化を活かした魅力発信 153千円 ○丹後ちりめん創業300年事業実行委員会への負担金 <丹後ちりめん創業300年事業 予定> ・海外発信・販路開拓事業 デザイナー等とのコラボ ・国内発信・販路開拓事業 首都圏における商談会への出展 ・地域内機運醸成事業 「丹後ちりめん創業300年」 P R 事業を公募し支援 ・国内外学生とのコラボ事業 など [連携事業及び共催事業] <丹後ちりめん創業300年連携事業> ・丹後きものまつりin天橋立 ・シルクサミットin丹後 <丹後ちりめん創業300年共催事業> ・現代版海上茶会事業 (大河ドラマ関連イベントとして丹後きものまつりの日に実施)		ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興				
			総合戦略 政 策	—				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			期 待 される 効果等	・織物産業の振興 ・地域の魅力発信による観光誘客 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくる				
			担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係		45-1663		29

事業名	もうひとつの京都「光のアトリエ」支援事業	新規	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	R元. 7～11 日本博京都府域展開アート・プロジェクト「もうひとつの京都」開催 (主な取組) ・R元. 7. 13～9. 30 天橋立砂浜ライトアップ ・R元. 9. 13～11. 4 元伊勢籠神社メディアアート・フェスティバル ・R元. 11. 9～11. 10 成相寺紅葉ライトアップのスペシャル演出		2, 000	1, 000				1, 000
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				国	地方創生推進交付金			1, 000
目 的 ・ 目 標	地域の文化資源の魅力を引き出し、国内外へ発信する取組として、丹後地域の歴史や風土、生活文化等を題材とした光と映像によるデジタルアート展「光のアトリエ」を支援し、夜の賑わいづくりを通じて、宿泊客を増やし観光消費額を高め、地域経済の活性化を図る。		(参考)前々年度決算額					
事 業 要 概	■もうひとつの京都「光のアトリエ」 2, 000千円 「日本の美」をテーマに天橋立を舞台として「そこでしか作られない・見られない」作品をデジタルアートにより光と音で演出することで、夜の賑わいを創出する。 【実施主体】「海の京都」天橋立地区協議会（文珠・府中ライトアップ実行委員会） 【取組】 京都府との連携事業「光のアトリエ」として、7月から11月まで実施予定。 ○天橋立砂浜ライトアップ ※「天橋立まち灯りぶらり散策」、「砂浜BAR」、「ナイトクルーズ」など地元団体、交通事業者の取組と連携 ○成相寺紅葉ライトアップ ＜京都府事業：「日本博府域展開アートプロジェクト2020 光のアトリエ」＞ 文化庁が推進する「日本博」事業の一環として実施するアートプロジェクト。「光のアトリエ」として、ライトアップに加えて、天橋立、寺社仏閣などの文化財を活用した光と音の演出を実施。 ○時 期 7月中旬～11月（予定） ○実施場所 宮津市ほか（予定） ○主な内容 ・アーティストによる地域の文化財や歴史、風土を生かした光と音の作品展示 ・ライブパフォーマンス等 ○事業費 46, 500千円（予定）		ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略				
			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興				
			総合戦略 政 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H25	海の京都天橋立地区マスタープラン				
			期 待 される 効果等	○宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI ・観光交流人口 R2:310万人(H30:約297万人) ・観光消費額の拡大 R2:150億円(H30:約95億円) ・外国人観光客宿泊客数 R2:6万人(H30:約4.2万人) ○市民参加の状況 「海の京都」天橋立地区協議会に地元観光団体等10団体が参画 				
担当部署	産業経済部 商工観光課 観光係			45-1625	30			

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	天橋立の「国内暫定リスト」入りを目指して (世界遺産登録推進事業)	新規	予 算 額	財 源 内 訳				
背 景 経 緯	H19. 6 : 天橋立世界遺産登録可能性検討委員会設置 (京都府) H19. 9 : 世界遺産暫定一覧表候補提案書を文化庁に提出 (京都府・1市2町) ⇒次点の「I a」評価 H19.12 : 天橋立を世界遺産にする会設立 H26. 3～ : 「宮津天橋立の文化的景観(府中・文珠)」が国重要文化的景観に選定 H28.10 : 「成相寺旧境内」が国史跡に指定 R元. 5 : 「天橋立世界遺産登録可能性検討委員会」を「天橋立世界遺産登録推進会議」に発展的改組 (京都府)		1,414	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			1,414	繰入	自然環境保全基金繰入金			1,400
			(参考)前々年度決算額					
			1,427					
目 的 目 標	府や近隣自治体と連携し、世界遺産登録に向けた活動を推進することで、地域の宝である天橋立の魅力向上と住民の誇りの醸成を図る。		ビジョン 重点戦略	—				
			ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上				
事 業 概 要	■天橋立を世界遺産にする会の活動支援 1市2町2,000千円(宮津市1,414千円) 国内外に天橋立を発信し、国際的評価や知名度を高めるとともに、文化庁の「国内暫定リスト」入りに向けた調査研究を行う。 1. 研究及び普及啓発事業 (1)天橋立世界遺産に向けた講演会の開催 (2)有識者による現地視察・意見交換会の開催 (3)天橋立の魅力・価値に係る市民講座の開催 (京都市内・宮津市) [新規] (4)京都市内での啓発パネル展示[新規] 2. P R 及び会員募集 (1)関連団体・関連事業・イベントとの連携P R 「世界で最も美しい湾クラブ」を通じた発信 もうひとつの京都「光のアトリエ」、天橋立一斉清掃等でのP R (2)メディアを通じたP R活動 (3)P R グッズ・各種宣材の作成・配布		総合戦略 政 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H27	宮津市教育振興計画			H28～R2	
			期 待 される 効果等	・天橋立の保全継承 ・天橋立及び周辺資源の国内外への幅広い情報発信 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう				
担当部署	教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係			45-1642		32		

事業名	文化財保存活用地域計画の策定に向けて (文化財保護・活用推進事業)	新規	予 算 額	財 源 内 訳				
背 景 経 緯	・H2～H17:「宮津市史」編纂刊行、旧三上家住宅の整備等 ・H14～ :市内遺跡発掘調査開始 ・H19～ :天橋立世界遺産登録・まちなか観光等の取組開始 ・H20～ :文化的景観の取組開始 ⇒国指定 (H26.3府中地区、H27.1文珠地区) ・H26～ :日本遺産登録に向けた取組開始 ⇒R元現在3件認定 (北前船、丹後ちりめん、成相寺) ・H31.4 :改正文化財保護法施行 (文化財の計画的な保存・活用の促進)		2,500	2,474				26
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				国	文化芸術振興費補助金			2,474
			(参考)前々年度決算額					
目 的 目 標	過去の取組の成果を踏まえ、本市の歴史文化を改めて網羅的に把握し、文化財の保存・継承・活用による「まちづくり・ひとづくり」に資するマスタープランとなる地域計画を策定し、市総合計画等と整合を図りつつ「明るく豊かな宮津」づくりを推進する。		ビジョン 重点戦略	—				
			ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上				
事 業 概 要	■「宮津市文化財保存活用地域計画」の策定 2,500千円 ○策定期間 R2～R4年度(予定) ○計画構成案 ①計画策定の目的・位置づけ ②宮津市の概要 ③宮津市の文化財の概要と特徴 ④宮津市の歴史文化の特徴 ⑤文化財の保存活用に関する方針 ⑥関連文化財群に関する事項 ⑦文化財保存活用区域に関する事項 ⑧保存活用に関する措置 ⑨文化財の保存活用の推進体制  旧三上家住宅 (国指定重要文化財)		総合戦略 政 策	—				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H27	宮津市教育振興計画			H28～R2	
期 待 される 効果等	・文化財保存活用に関する市民の意識涵養 ・新たな資料の掘り起こしと価値付け(新規指定等) ・文化財の防犯、防災計画等の充実 ・地域での世代間交流やコミュニティの再構築 ・他部局や市民団体が行う関連事業との連携と効率化 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任							
担当部署	教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係			45-1642		33		

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	東京2020オリンピック聖火リレー事業 東京2020パラリンピック聖火リレー事業	新規	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	・R元. 6：オリンピック聖火リレー実施市町村の公表 ・R元. 12：オリンピック聖火リレーコース及び聖火ランナーの公表 ・R2. 2：パラリンピック聖火リレー採火式の実施市町村の公表		5,250		2,056			3,194
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				府	東京2020オリンピック聖火リレー準備費補助金		2,056	
目 的 ・ 目 標	障がいがある人や児童生徒を含め市民がオリンピック・パラリンピックを身近に感じることで、夢と希望を与える機会の創出を図るとともに、一人一人に豊かな「スポーツどころ」を育む機会とするもの。あわせて宮津の魅力を世界に発信するもの。		(参考)前々年度決算額					
			ビジョン 重点戦略	—				
事 業 要 概	■東京2020オリンピック聖火リレーの実施 5,000千円 *日 時:令和2年5月26日(火) 午前9時開場(予定) *場 所:天橋立公園内 *内 容:①ミニセレブレーション 点火式を盛り上げる祭典として、郷土芸能や太鼓等の実施を予定 ②点火式及び聖火リレー [聖火リレーコース] 文珠(天橋立公園内グラウンド)⇒府中(全国健称マラソンの碑) ③オリンピック・パラリンピック学習会 聖火リレー後、オリンピック等による小中学生向けの学習会を開催 *経 費:・聖火リレー実施に係る警備計画作成 ・コース設営、ミニセレブレーション舞台・音響設備設営 ・学習会講師謝金、小中学生の輸送経費など ■東京2020パラリンピック聖火リレー採火式の実施 250千円 *日 時:令和2年8月15日(土) *場 所:島崎公園芝生広場(予定) *内 容:多様な方々の参加のもと採火式を実施し、東京での集火式につなげるもの *経 費:トーチ等の消耗品、周知チラシ作成		ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成				
			総合戦略 政 策	—				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			期 待 される 効果等	・市民に夢と希望を与える機会の創出 ・一人一人に豊かな「スポーツどころ」を育む機会の創出 ・宮津市の魅力を国内外へ発信				
			4 質の高い教育を みんなに 17 パートナリシップで 目標を達成しよう					
			担当部署	教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係		45-1642		34

事業名	魅力あるまち“みやづ”にU I Jターン推進事業	充実	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景・経 緯	少子高齢化や若者の流出などによる急激な過疎化・人口減少が進む中で、都会では地方への移住希望者が増加しているため、本市への定住につなげるU I Jターンの仕組みを構築 H23.9：みやづUIターンサポートセンターを設置 H27.4：京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会を設置。定住促進などの共同事業を行う。 H29.8：宮津市空家空地対策協議会を設置		15,377	1,641	5,800			7,936
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			19,044	国	地方創生推進交付金			1,641
				府	移住促進事業費補助金			3,300
			(参考)前々年度決算額	府	きょうと地域連携交付金			2,500
			20,190					
目 的・目 標	関係人口の創出及びUIJターン希望者の受入推進による定住人口の増加を図るため、「みやづUIターンサポートセンター」等により本市の魅力と生活環境の良さを広く発信するとともに、空家等を活用した定住支援を行う。また、「地域とともに空家をなくす」を基本方針に、所有者等・行政・地域・事業者等が連携、協働して総合的な空家空地対策を推進する。		ビジョン重点戦略	定住促進戦略				
			ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備				
事 業 要 概	■U I ターンサポートセンターの運営 2,778千円 ・空き家等情報バンクシステムの運営 ・移住、交流イベントへの出展 ・U I ターン希望者への情報提供、相談 ■定住支援空き家等改修補助等 11,600千円 市内への定住を目的に空家等を購入又は賃借した者への空家等の改修費を補助 ・補助額:2分の1(上限1,000千円、市内全域) 5,000千円 府の補助金を活用した移住促進特別区域における活動への支援 ※令和元年度移住促進特別区域：養老地区、上宮津地区、世屋地区、府中地区 ＊市内への定住を目的に空家等を購入又は賃借した者への空家等の改修費を補助 ・補助額:10分の10(上限1,800千円) 5,400千円 ＊地域団体による移住者の受入推進活動への補助 ・補助額:10分の10(上限500千円) 1,000千円 ＊空家等を移住者に売却又は賃貸等する際に必要な家財撤去費への補助 ・補助額：10分の10（上限100千円） 200千円 ■京都府北部地域連携都市圏事業負担金 505千円 北部7市町が連携し、情報発信・地域人材間の連携・合同企業説明会を実施 ■総合的な空家空地対策の推進 294千円 空家空地対策協議会の運営、管理不全な状態の空家等の情報提供及び助言などを実施 ■地域おこし協力隊の募集 200千円【新規】 地域課題に取り組むため、地域おこし協力隊の募集を行う。		総合戦略政策	みやづへの人の流れをつくる				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H28	宮津市空家空地対策計画			H29～R3	
				・首都圏等都市部への情報発信強化による定住世帯の確保 ・地域(自治会、地域会議)等との連携による、空家等の掘り起こし及び確保 ・京都府により指定された移住促進特別区域による地域主体の移住受入の取組 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 みやづUIターンサポートセンターを通して定住した世帯数: 6年間で100世帯(H27～H30・71世帯134人)				
			11 定住促けられるまちづくりを					
			担当部署	企画財政部 企画課 定住・空家対策係			45-1607	35



令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	次世代人材育成事業	継続	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	H27.10：宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、本市独自の方針として「みやづを担う次代の人づくり」を設定 H28.8：市内高校と連携した人材育成、創業セミナー等を実施 H29.11：宮津市地域おこし協力隊（提案型）3人を委嘱		9,816	75				9,741
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			12,650	国	地方創生推進交付金			75
目 的 ・ 目 標	人口減少が進む地域におけるコミュニティ維持のため、地域活動への参画や、新たな視点での課題解決等に取り組む人材の育成を行う。		(参考)前々年度決算額					
			9,268					
			ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略				
事 業 概 要	■提案型の地域おこし協力隊の活動等 9,666千円 ○地域おこし協力隊の配置 8,666千円 市内の活性化や地域課題の解決に向けて、地域団体等の活動支援や地場製品の開発・PR等の地域協力活動を行いながら、独自のアイデア等に基づき起業を目指す「提案型地域おこし協力隊」3人の活動経費（継続3年目） ○地域おこし協力隊の起業支援補助金 1,000千円 地域おこし協力隊の任期終了後の起業を支援（上宮津） ・事業内容：おにぎりカフェの厨房及び店舗設備の整備 ・事業費：1,400千円（補助率：定額、上限1,000千円） ■市内高校との連携事業 150千円 市内の高校生が、本市で地域活性化に向けた活動や事業等を展開されている社会人の方から地域活性化や「しごと」への熱意等を学ぶとともに、ワークショップやフィールドワークを行い、課題解決型の人材育成を図る。		ビジョン 基本施策	—				
			総合戦略 政 策	みやづを担う次代の人づくり				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					

事業名	大学等地域活動連携推進事業	充実	予 算 額	財 源 内 訳																			
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源															
背 景 ・ 経 緯	H27.10：宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「みやづへの人の流れをつくる」を設定 R元.7：宮津市大学等連携事業補助金交付要綱を制定 7大学等と連携協定を締結		1,000	500				500															
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳																			
			600	国	地方創生推進交付金			500															
目 的 ・ 目 標	本市における大学活動を支援することにより、フィールドワーク等の調査研究や地域等とのワークショップの開催等による人の流れをつくるとともに、大学側のリソースを活用した本市の地域課題の解決を図る。		(参考)前々年度決算額																				
			ビジョン 重点戦略	定住促進戦略																			
事 業 概 要	■宮津市大学等連携事業補助金 1,000千円 各大学等から本市の地域課題等の解決策の提案を受け、その内容を審査し、活動への支援を行う。 ○補助金 200千円/大学×5件 ＜事業スキーム＞ ①地域が抱える課題を抽出し、大学等との連携を募集 ②大学等から事業提案の応募 ③審査・交付決定 ④事業実施へ ＜令和元年度実績＞ <table><tr><th>事業名(活動テーマ)</th><th>地域団体等</th><th>連携校</th></tr><tr><td>まごころ市地域にぎわい拠点事業</td><td>宮津まごころ市運営組合</td><td>京都大学</td></tr><tr><td>世代間交流促進を通じた日置コミュニティ活性化事業</td><td>日置地域会議</td><td>京都大学</td></tr><tr><td>地域資源の活用と発信に向けた協働事業</td><td>上宮津21夢会議</td><td>京都大学</td></tr><tr><td>上宮津地域ビジョン策定のためのわかものヒアリングプロジェクト</td><td>上宮津地域会議 上宮津21夢会議</td><td>福知山公立大学</td></tr></table>	事業名(活動テーマ)	地域団体等	連携校	まごころ市地域にぎわい拠点事業	宮津まごころ市運営組合	京都大学	世代間交流促進を通じた日置コミュニティ活性化事業	日置地域会議	京都大学	地域資源の活用と発信に向けた協働事業	上宮津21夢会議	京都大学	上宮津地域ビジョン策定のためのわかものヒアリングプロジェクト	上宮津地域会議 上宮津21夢会議	福知山公立大学		ビジョン 基本施策	—				
		事業名(活動テーマ)	地域団体等	連携校																			
		まごころ市地域にぎわい拠点事業	宮津まごころ市運営組合	京都大学																			
		世代間交流促進を通じた日置コミュニティ活性化事業	日置地域会議	京都大学																			
		地域資源の活用と発信に向けた協働事業	上宮津21夢会議	京都大学																			
		上宮津地域ビジョン策定のためのわかものヒアリングプロジェクト	上宮津地域会議 上宮津21夢会議	福知山公立大学																			
		総合戦略 政 策	みやづへの人の流れをつくる																				
		【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】																					
			期 待 される 効果等	・大学等の研究フィールドワークに本市を活用することによる人の流れの創出 ・地域課題の解決 17 パートナーシップで 目標を達成しよう																			
			担当部署	企画財政部 企画課 魅力発信係		45-1609		37															

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	まちづくり応援事業	継続	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	・ 地域会議：H19より各地区で地域会議設置。現在全地区で地域会議設立。各地区の特色に応じ、様々なまちづくり活動が展開 ・ まちづくり補助金等：H20のふるさと寄附税制、市民3大プロジェクトを契機に、まちづくり補助金を創設。以降、コミュニティ助成金等とともに多くの市民活動を支援		10,200				8,200	2,000
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			71,384	繰入 諸	まちづくり基金繰入金 コミュニティ助成金		1,900 6,300	
目 的 ・ 目 標	市民と行政の協働の重要な核となる地域会議活動を充実させるとともに、市民や地域等におけるまちづくり活動を促進し、市民と行政の協働を推進する。		(参考)前々年度決算額					
			45,990					
			ビジョン 重点戦略	定住促進戦略				
事 業 概 要	■地域会議活動支援 1,400千円 地域住民による地域課題解決のための会議体「地域会議」への活動支援 ・ 14地域会議×100千円（会議運営費の支援） ■宮津市まちづくり補助金 2,500千円 市民団体等によるまちづくり活動への支援(市民による審査会において採択を決定) ・ 補助率等：対象経費の1/2（上限1,000千円） ・ 対象事業：本市の知名度の向上に資する事業、地域の活性化に資する事業等 ■宮津市コミュニティ助成金 6,300千円 (一財)自治総合センターの助成制度を活用し、自治会のコミュニティ活動を支援 ※ふるさと宮津応援寄付に係る経費を、ふるさと納税事業として整理 (R2予算 59,695千円)		ビジョン 基本施策	—				
			総合戦略 政 策	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			期 待 さ れ る 効 果 等	・ 市民によるまちづくり活動、地域活動の拡大 ・ 地域コミュニティのより一層の充実 ＜市民参加の状況＞ ・ 地域会議：地域課題解決のための会議体への参画等 ・ まちづくり補助金、コミュニティ助成金：多くの市民活動の促進 17 パートナーシップで 目標を達成しよう 				
			担当部署	企画財政部 企画課 魅力発信係		45-1609		38

事業名	ふるさと納税事業 (まちづくり応援事業から独立)	継続	予 算 額	財 源 内 訳																														
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																										
背 景 ・ 経 緯	H20.6 : 国の税制改正に伴い、ふるさと宮津応援寄附を創設 H27.4 : 国のふるさと納税ワンストップ特例制度開始 H27.10 : 納税サイトへの業務委託、クレジットカード決済、ふるさと納税ワンストップ特例制度の導入		59,695					59,695																										
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳																														
目 的 ・ 目 標	個人住民税の寄附金税制、いわゆる「ふるさと納税」制度である、ふるさと宮津応援寄附の受入を推進し、年間1億2,000万円の収納を目標とする。		(参考)前々年度決算額																															
			ビジョン 重点戦略	定住促進戦略																														
事 業 概 要	■ふるさと宮津応援寄附の推進 59,695千円 納税サイト等を通じた全国に向けてのPR、寄附受付と返礼品の送付等 (寄附金は寄附者の意向に沿った目的の基金へ積立て、各事業に活用) ※寄附金額及び返礼品の推移 <table><tr><th colspan="2"></th><th>H27年度</th><th>H28年度</th><th>H29年度</th><th>H30年度</th><th>R元年度 (12月末時点)</th></tr><tr><td colspan="2">寄附金額(千円)</td><td>18,707</td><td>100,141</td><td>98,265</td><td>87,316</td><td>78,943</td></tr><tr><td rowspan="2">返礼品</td><td>取扱事業者</td><td>22</td><td>27</td><td>30</td><td>29</td><td>41</td></tr><tr><td>返礼品数</td><td>61</td><td>76</td><td>114</td><td>101</td><td>192</td></tr></table> ※新たな商品造成 ・「さといこ」サイト内に体験型返礼品を造成(R元年7月～) ・「ふるさとチョイス」サイト内に高島屋セレクトの新たな返礼品を造成(R元年10月～) ※新たに「企業版ふるさと納税」獲得に向けた取組を実施			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度 (12月末時点)	寄附金額(千円)		18,707	100,141	98,265	87,316	78,943	返礼品	取扱事業者	22	27	30	29	41	返礼品数	61	76	114	101	192	ビジョン 基本施策	—				
				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度 (12月末時点)																										
		寄附金額(千円)		18,707	100,141	98,265	87,316	78,943																										
		返礼品	取扱事業者	22	27	30	29	41																										
			返礼品数	61	76	114	101	192																										
		総合戦略 政 策	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する																															
		【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】																																

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名		まちなか集客施設の立地継続 (丹後地区土地開発公社に対する債務保証の延長)		新規		予 算 額		財 源 内 訳					
								国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背 景 経 緯	・ H14. 9: 公社に対する債務保証 400,000千円 H14～H19年度 5年間 ・ H15. 7: 図書館等複合施設建設事業用地として公社で先行取得 面積1,963.95㎡ ・ H18. 3: 公用及び公共用地等取得事業（暁星）用地として公社で先行取得 面積468.36㎡ ・ H20. 3: 公社に対する債務保証（延長）400,000千円 H20～R4年度 15年間 ・ H21. 4: 公用及び公共用地等取得事業（暁星）用地を公用車駐車場として使用貸借契約 ・ H22. 10: 図書館等複合施設建設事業用地を㈱ローソンと事業用定期借地権設定契約 ・ H29. 11: 福祉・教育総合プラザに図書館、子育て支援センターにっこりあを整備 ・ H31. 2: 「財政健全化に向けた取組み」で買戻しの先送りを掲げる					債務負担行為 203,000							
						(参考)前年度予算額		特 定 財 源 の 内 訳					
						(参考)前々年度決算額							
目 的 標		現在、丹後地区土地開発公社保有地の貸付により立地している㈱ローソン店舗について、当該店舗の利用状況や本市の財政状況等に鑑み、債務保証を延長し、同公社からの貸付により立地継続させ、まちなかの賑わいと活性化、及び移住・定住の促進に資する。					ビジョン 重点戦略		—				
							ビジョン 基本施策		—				
事 業 概 要	■丹後地区土地開発公社に対する債務保証の延長 ◆債務負担行為 												

事業名	農山村活性化事業（元気な里づくり推進事業から名称変更）	充実	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景・経 緯	地域会議等を主体に、地域課題解決に向けた里力再生計画の策定、話し合い活動や、実践活動（京都府「命の里」事業）等に取り組んできた。 ・H22.6：上宮津地域会議を発足 ・H28.4：上世屋定住促進協議会を発足 ・R元.7：上宮津地域会議内にビジョン策定チームを発足		4,100		100		4,000	0
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			4,000	府	農村型小規模多機能自治推進事業費補助金			100
目 的・目 標	農山村が抱える課題を解決するため、地域自らが取り組む実践活動等を支援し、集落の活性化を図る。		(参考)前々年度決算額					
			3,017					
			ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略				
事業概要	■農村集落活性化に向けた取組への支援 100千円 地域の目指す方向性や課題を関係者で共有し、人・組織づくり、場所づくり、安心づくりなどの「コミュニティ維持強化」や、なりわいづくりなどの「ビジネス強化」に向けた地域の計画づくりを支援する。（R元からの2か年事業） ・事業主体 上宮津地域会議 ・事業内容 地域ビジョン策定に必要な専門家の招へい、ワークショップや視察等 ・総事業費 200,000円 ・補助金額 100,000円（補助率1/2） ■地域おこし協力隊の活動支援等 4,000千円 ○地域おこし協力隊の配置 地域外の人材の定住を促進し、地域活性化を図るため地域おこし協力隊を配置 ・府指定無形民俗文化財である「藤織り」の製品化や伝承の活動（上世屋定住促進協議会がサポート） （継続者1名：任期H30.6～R3.6）		ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興				
			総合戦略政策	しごとをつくり、安心して働けるようにする				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			期待される効果等	地域連携による地域課題の解決と農村集落の活性化 8働きがいも経済成長も 17パートナーシップで目標を達成しよう				
担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係			45-1626		51		

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

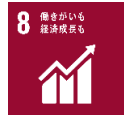
事業名	森林管理事業	新規	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	H31.4 森林経営管理法、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行 R元.9 宮津市森林環境譲与税基金条例の施行		2,797				2,797	0
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				繰入	森林環境譲与税基金繰入金		2,797	
目 的 目 標	適切に経営管理されていない森林（主に私有林の人工林）について、市町村が森林環境譲与税を財源に、森林経営管理法に基づき、適切な森林管理を行う。		(参考)前々年度決算額					
			ビジョン 重点戦略	—				
事 業 要 概	■森林管理事業 2,797千円 市内の北部と南部にそれぞれ1地区のモデル区を設定し、意向調査を実施するとともに、全体における概ねの事務量を把握し、市全域の意向調査実施計画を策定 ○内容 (R2) ・モデル区において森林所有者への意向調査を実施 (森林所有者の把握、関係自治会への説明会の開催等) ・意向調査実施計画の策定 (市全域を複数のブロックに分け、調査を概ね15～20年で完了する計画) (R3以降) ・順次ブロック毎の意向調査を実施し、その意向を踏まえ経営管理権集積計画・経営管理実施権配分計画を作成した上で、民間事業者あるいは市が間伐等の森林管理を実施する。 ○対象森林面積 約1,400ha [参考:R2森林環境譲与税 9,200千円（全額を基金へ積立）]		ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興				
			総合戦略 政 策	—				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			期 待 される 効果等	森林の多面的・公益的機能の発揮				
				15 緑の豊かさも ずらう 				
担当部署	産業経済部 農林水産課 産業基盤係		45-1627		61			

事業名	有害鳥獣対策事業	充実	予 算 額	財 源 内 訳				
背 景 経 緯	・ H26.4～：伊根町と共同でニホンザル宮津A群の個体数調整（群れ捕獲）を実施 ・ H26.6　：鳥獣被害対策実施隊を設置 ・ H26.7～：鳥獣被害対策実施隊（サル対策班）による追払い・捕獲活動を開始 ・ H27.9～：鳥獣被害対策実施隊（シカ対策班）の銃器による捕獲の実施 ・ H29.3　：H29～R元年度を計画期間とする宮津市鳥獣被害防止計画を策定 ・ R 2.4～：宮津市有害鳥獣処理施設を稼動予定		24,390	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			14,333	府	緑の公共事業費補助金			8,461
			(参考)前々年度決算額	府	市町村事務委任交付金			439
			13,849					
目 的 目 標	有害鳥獣被害に対応するため、駆除対策、防除対策、生息環境管理対策を、猟友会や地域と一体となって総合的に実施することにより、農林業及び生活環境への被害の低減を図る。		ビジョン重点戦略	—				
			ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興				
事 業 概 要	■有害鳥獣の捕獲（委託先：京都府猟友会宮津支部猟友会）10,389千円 ○緊急捕獲の推進（イノシシ・シカ（成獣）・サル） ■鳥獣処理施設の管理運営 10,513千円 ○発酵処理による新たな有害鳥獣処理施設の管理運営（R2.4～） ■ニホンジカ対策の強化 1,138千円 南部地域で被害が拡大しているニホンジカの捕獲強化を継続 ○メスジカ捕獲強化 狩猟期間中の捕獲に対する報奨金を支給 ○鳥獣被害対策実施隊の活動 シカ対策班による巻き狩りを実施 ■ニホンザル対策 1,375千円 ○ニホンザル宮津A群個体数調整の実施（伊根町との共同事業） ・ 目標 20頭/群に削減 ○鳥獣被害対策実施隊の活動（サル対策） サル対策班による北部地域での定期的なパトロール及び捕獲等を実施 ○地域のニホンザル追払い活動への支援 ■クマ捕獲ほか 975千円 ※捕獲檻及び防護柵の整備等は、宮津市野生鳥獣被害対策運営協議会事業で連携実施		総合戦略政 策	—				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H28	宮津市鳥獣被害防止計画			H29～R元	
			H29	ニホンザル宮津A群個体数調整計画				
			期 待 される 効果等	・有害鳥獣による農林業及び生活環境への被害の低減 ・営農意欲の低下や荒廃農地の発生の防止 〔市民参加の状況〕 捕獲檻の見回りやサルの追い払い活動など、地域住民が被害低減に向け取組				
				2 飼育をゼロに 				
			担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係			45-1626	

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	魅力ある観光地づくり支援事業	継続	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	H27.7：京都縦貫自動車道の全線開通 H27.7～11：海の京都博の開催 H28.6：（一社）京都府北部地域連携都市圏振興社（以下「海の京都DMO」）の設立 H28.8：（公社）天橋立観光協会が海の京都DMOに統合参画（以下「海の京都DMO天橋立地域本部」） H29.11：「日本版DMO法人」に登録。福知山観光協会が統合参画し、5市2町での観光推進体制が構築		45,465	6,383	6,135		30,450	2,497
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			47,658	国	地方創生推進交付金			6,383
目 的 ・ 目 標	日本の顔となる観光地を目指すため、天橋立に代表される観光資源の活用並びに、海の京都DMO及び海の京都DMO天橋立地域本部と連携して、観光入込客の増加、観光消費額の拡大を図る。		(参考)前々年度決算額	繰入	観光振興基金繰入金			30,450
			48,286					
			ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略				
事 業 要 概	■海の京都DMOの運営に係る負担金 17,570千円 海の京都エリアの観光地域づくりを進める海の京都DMOに対する負担金 ■海の京都DMO天橋立地域本部（以下、天橋立観光協会）に対する支援 27,695千円 ○宮津市観光振興交付金 15,225千円 天橋立観光協会の運営、地域イベント支援、国内外へのプロモーション等を支援 ○観光情報発信補助事業 1,350千円 観光パンフレット(旅のかわら版)の作成、WebやSNS等のメディアでの広報宣伝への支援 ○天橋立駅観光案内事業 10,920千円 本市観光における玄関口となる天橋立駅での観光案内業務及び増加する外国人観光客に対する案内体制の強化への支援 ○観光地域づくり推進事業（宮津市観光推進会議の運営） 200千円 地域課題解決のため、地域住民の観光に対する意識醸成（講演会など）を支援 ■観光分野において活躍する地域おこし協力隊の募集 200千円 天橋立アクティビティセンターを活動拠点に地域課題に取り組むため、地域おこし協力隊2名の公募を行う。		ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興				
			総合戦略 政 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
期 待 さ れ る 効 果 等	○宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI ・観光交流人口 R2:310万人(H30:約297万人) ・観光消費額の拡大 R2:150億円(H30:約95億円) ・外国人観光客宿泊客数 R2:6万人(H30:約4.2万人) ○先進性 海の京都DMO…観光協会を統合したDMOは全国初(H28) 天橋立観光案内所…日本政府観光局外国人案内所カテゴリーⅡに認定(H25)							
								
担当部署	産業経済部 商工観光課 観光係			45-1625	75			

事業名	宮津与謝環境組合分担金等	継続	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	・ H25. 4:1市2町で宮津与謝環境組合を設立。整備候補地の生活環境影響調査等実施 ・ H27 : 候補地地元の建設同意・敷地造成工事着手 ・ H28. 4:DBO事業者と契約締結 ・ H28. 11:敷地造成工事完了 ・ H29. 1:施設建設工事着手 ・ R 2. 4:施設実質稼動予定 ・ R 2. 6:施設竣工予定		529, 942			316, 600		213, 342
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			1, 634, 108	市債	過疎対策事業債		316, 600	
			(参考)前々年度決算額					
目 的 ・ 目 標	宮津市、伊根町及び与謝野町で組織する宮津与謝環境組合において、令和2年4月からごみの全量受入を開始し、一般廃棄物の安定処理を図るもの。		388, 213					
			ビジョン 重点戦略	—				
事 業 概 要	■宮津与謝環境組合分担金 524, 042千円 宮津与謝クリーンセンターの整備・運営主体である宮津与謝環境組合に対し、組合規約に基づく負担割合に応じた本市の分担金を拠出する。 (構成市町分担金にかかる本市負担割合：43. 4883%) ＜参考：R2宮津与謝環境組合予算 1, 650, 215千円の内訳＞ ○クリーンセンター施設建設工事等(施設建設最終年度) 1, 110, 388千円 ・ 建設工事費及び設計施工監理業務委託料 ○クリーンセンター施設運営費（R2. 7以降分） 491, 694千円 ・ クリーンセンターの運営委託料等 ○宮津与謝環境組合事務局費等 48, 133千円 ・ 議会費、総務費等 ■焼却灰等運搬業務等 5, 900千円 クリーンセンターから生じた焼却灰・飛灰・不燃残渣（宮津市相当分）を宮津市東部不燃物処理場まで運搬  ＜施設完成イメージ図＞		ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上				
			総合戦略 政 策	—				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H25	宮津与謝地域広域ごみ処理基本計画				H25～R8
			H26	新ごみ処理施設基本計画				
			期 待 さ れ る 効 果 等	バイオガス発電により、年間5千万円程度の売電収入(組合が受入)を見込む。				
				11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナースHIPで目標を達成しよう				
			担当部署	市民部 市民課 環境衛生係		45-1617		96



<施設完成イメージ図>

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	特別養護老人ホーム整備費等補助事業	継続	予 算 額	財 源 内 訳					
背 景 経 緯	・ S52.3：特別養護老人ホーム天橋園の竣工 ・ S63.3：特別養護老人ホーム天橋園の増築 →H18.3：増築分をグループホーム・認知症対応型通所介護事業所に改修 ・ H29.9：特別養護老人ホームマ・ルート開設		68,783	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
			59,732	府	京都府地域密着型サービス等整備助成事業補助金	14,814	府	きょうと地域連携交付金	500
			(参考)前々年度決算額	市債	過疎対策事業債	44,800			
目 的 目 標	築42年が経過し老朽化している特別養護老人ホーム天橋園等の改築により、第7期宮津市介護保険事業計画に定めるグループホームの拡大整備(定員増)を図る。また、平成29年に整備した複合型社会福祉施設マ・ルートの雇用を支援し福祉の充実及び雇用機会の拡大を図る。		23,141						
			ビジョン 重点戦略	—					
事 業 概 要	■施設整備費補助金 59,664千円 グループホーム等の拡大整備等を行う社会福祉法人に対して補助金を交付 施設概要：認知症高齢者グループホーム・認知症対応型デイサービスセンター 事業開始日：令和2年12月1日(予定) ○開設準備経費 14,814千円 [備品購入経費等] ○整備補助金 44,850千円 [整備後定員18名(9名増)]  (完成イメージ) ■雇用機会拡大補助金 1,000千円 介護サービス事業の開始に伴い市民従業員の雇用を拡大した事業者に対して最大3年間に限定して補助金を交付 ○交付対象者 社会福祉法人みねやま福祉会(3年目) ■特別養護老人ホーム施設整備資金償還補助金 8,119千円 特別養護老人ホームの整備資金に係る償還金に対して補助金を交付 ○交付対象者 社会福祉法人北星会(特別養護老人ホーム天橋の郷) 償還期間 平成18年度～令和7年度		ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進					
			総合戦略 政 策	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】						
			H29	第7期宮津市介護保険事業計画				H30～R2	
			H29	第8次宮津市高齢者保健福祉計画				H30～R2	
			R元	宮津市地域福祉計画				R元～R5	
			期 待 される 効果等	グループホーム入所待機者の解消及び雇用の促進・拡大を図ることができる。					
				3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを					
			担当部署	健康福祉部 社会福祉課 地域福祉係			45-1618		151

事業名	市営住宅タヶ丘団地の建替え（市営住宅環境整備事業）	継続	予 算 額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	・ タヶ丘地区の公営住宅は、築50年以上経過 ・ H28～H29 基本設計 ・ H29 地質調査、実施設計 ・ H30～ 住宅建設、既存住宅撤去		197,213	51,653	21,253	124,200		107
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			900,097	国	地域住宅交付金		51,653	府
目 的 ・ 目 標	市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するため、宮津市公営住宅等長寿命化計画に基づき、若者世帯・高齢者世帯にとって魅力ある地域となるようタヶ丘団地を整備する。また住宅整備と併せ、市有地の有効活用を図ることで、地域の活性化、定住促進に繋げる。		(参考)前々年度決算額	市債	公営住宅整備事業債		124,200	
			314,088					
			ビジョン 重点戦略	定住促進戦略				
事 業 概 要	■市営住宅タヶ丘団地の建替え 197,213千円 令和2年度の竣工に向け、引き続き市営住宅の建設を進めるとともに、集会所の建設や関連道路の整備を行う。 ○工事費 183,858千円（集会所新築及び関連道路整備） ・集 会 所：木造平屋建 104.9㎡ ・住宅駐車場：20台 ○委託費 11,784千円（工事監理、既存建物解体設計他） ○その他 1,571千円（移転補償費、事務費）  集会所完成予想図 《市営住宅の概要》 構造：鉄筋コンクリート造5階建 戸数：35戸 〔 2DK:19戸、3DK:15戸、 車椅子仕様2DK:1戸 〕  完成予想図		ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備				
			総合戦略 政 策	みやづへの人の流れをつくる				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H21	宮津市公営住宅等長寿命化計画			H21～H30	
			H26	宮津市地域住宅計画			H27～R元	
			H29	宮津市地域住宅計画(防災・安全)			H29～R3	
期 待 される 効果等	老朽住宅の建替による住環境の改善 定住人口の確保(概ね10世帯の新規入居)							
担当部署	建設部 都市住宅課 建築住宅係			45-1631		218		

令和2年3月定例会

令和2年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	公共施設マネジメントの推進（土地売却収入・財産管理事業）	継続	予 算 額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背 景 ・ 経 緯	・H25.11策定 インフラ長寿命化基本計画 ↓ ・H28.3策定 宮津市公共施設等総合管理計画策定 ・R2.3策定（予定） 宮津市公共施設等再編方針書 ・R2年度までに個別施設計画策定 ・R3年度までに総合管理計画の改訂 【インフラ長寿命化計画の体系】 インフラ長寿命化基本計画 (平成25年11月関係省庁連絡会議決定) (行動計画)【国】 各省庁が策定 (平成28年度までに策定) (個別施設計画)【国】 道路 河川 学校 (令和2年度までに策定) (行動計画)【地方】 公共施設等総合管理計画 (平成28年度までに策定するよう要請) (個別施設計画)【地方】 道路 河川 学校 (令和2年度までに策定)	9,800		3,650			6,150		
		(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
		13,087	府	きょうと地域連携交付金				3,650	
		(参考)前々年度決算額							
目 的 ・ 目 標	宮津市公共施設等再編方針書（R2.3策定予定）に定める個別施設ごとの具体の対応方針に基づき、維持・更新・廃止等に係る対策費用及び対策時期等を定める個別施設計画（投資計画）を策定し、公共施設等の適正配置と財政負担の軽減・平準化を図る。また、公共施設等適正管理推進事業債の活用には、個別施設計画への位置付けが必要なため。	ビジョン 重点戦略	—						
		ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備						
事 業 概 要	■公共施設等再編方針書に係る住民説明会 再編方針書に定める個別施設ごとの具体の対応方針等に関して、地域住民等に対する説明会を開催 ■個別施設計画策定業務 7,300千円 再編方針書に沿って個別施設計画（投資計画）を策定するための業務委託 ・施設の劣化状態の把握 ・施設の対策の優先順位の検討 ・類型別対策内容と実施時期の検討 ・修繕・更新費用の概算事業費の試算 など ※個別施設計画への記載事項（インフラ長寿命化基本計画に規定） ①対象施設、②計画期間、③対策の優先順位の考え方、④個別施設の状態等、⑤対策内容と実施時期、⑥対策費用 ■遊休市有財産の処分 2,500千円 再編方針書において売却方針とした財産は、用途廃止及び地元調整等の手続きを進め順次売却することを基本とし、測量・鑑定評価等必要な事務を実施 ※旧福祉センター跡地に係る土地売却収入を予算計上（18,710千円）	総合戦略 政 策	—						
		【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】							
		H27	宮津市公共施設等総合管理計画				H27～R7		
期 待 される 効果等	・公共施設の最適配置 ・財政負担の軽減・平準化 ・市民サービスの確保 11 住み続けられるまちづくりを	期待される効果等							
担当部署	企画財政部 財政課 資産活用係				45-1611		240		